

地域資源の「高付加価値化」

×

デジタル活用 を考える研修

地域の魅力を活かし、新たな価値や収益を生み出す取組が広がっています。

本研修では、デジタル技術（NFT等）を活用した先行事例をもとに、自治体における新たな地域価値創出の可能性について理解を深めます。

こんなことが学べます！

- ・地域資源の「価値の高め方」に関する考え方
- ・新たな収益モデルについての理解
- ・デジタル技術（NFT、DAO等）を活用した先進事例

6月24日 水

15:00 - 16:00

会場 魚津市役所 2階 第一会議室

定員 40名（先着順）

お申込み WEBフォームから
お申し込みください。

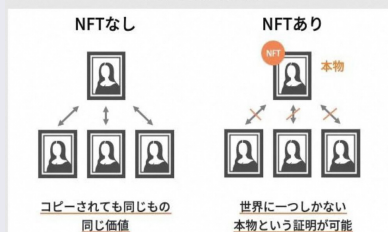


<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/Ma6DCJlp>

What's 「NFT」？

NFTとは、デジタルデータの唯一性が証明できることや希少価値を付与できることが特徴の先進技術です。

NFTの特徴



講師：浜崎 大輔氏

株式会社あるやうむ 西日本営業部長。

株式会社あるやうむは、地域資源の高付加価値NFTプラットフォームを構築し、自治体や企業がNFTを売買できる仕組みを展開しています。全国多数の自治体が活用しており、県内では舟橋村の事業者が「10年間新米を届ける権利」等を販売しています。



～地域に根ざった地域資源を“売れる価値”へ。関係人口と新たな財源づくりを後押し～

高付加価値NFTプラットフォーム「TOKKEN」のHP



舟橋村事業者の「10年間新米をお届けする権利」